

授業科目 成人発達保健論

【担当教員名】 池田 京子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】					
1. 成人期にある人の特徴を発達段階、社会的役割、健康障害から理解し、実態調査により成人期にある人の個別性を明らかにする。 2. セルフケア理論である dorothea・E・orem 理論を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 成人期にある人の発達段階を身体的、社会的、健康障害の視点より理解する。 2. 成人期にある人の一般論と実像を比較検討することができる。 3. 成人期にある人の年齢区分からみた健康障害の特徴を理解する。 4. 成人期にある人のセルフケア理論 (dorothea・E・orem) の概要を理解する					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	プレテスト・ガイダンス			1	講義
2	発達段階の特徴を身体的・社会的・健康障害の視点より理解する			1, 2	講義
3	発達段階の特徴を身体的・社会的・健康障害の視点より理解する			1, 2, 3	講義
4	発達段階の特徴を身体的・社会的・健康障害の視点より理解する			1, 2, 3	講義
5	フィールドワークを通して成人期にある人の一般的特徴と実像を比較検討する			1, 2, 3	フィールドワーク・グループワーク
6	フィールドワークを通して成人期にある人の一般的特徴と実像を比較検討する			2, 3	フィールドワーク・グループワーク
7	セルフケア理論 (orem 理論) を学習する			3	講義
8	セルフケア理論 (orem 理論) を学習する			3	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		成人看護学概論・成人保健 (第3版) 国民衛生の動向	野口 美和子 他	メジカルフレンド社 厚生統計協会	2011・2,625 円
参考書					
その他の資料		必要時教員が準備する			
【評価方法】 課題レポート 80 点 出席 20 点			【履修上の留意点】 授業でできることは限られているので主体的に学習することを勧めます。		